

第35回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和2年2月20日（木） 10:00～12:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

青木部会長、片岡部会長代理、折木委員、久保委員、白坂委員、鈴木委員、中須賀委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 松尾事務局長、行松審議官、中里参事官、星野参事官、吉田参事官、森参事官、鈴木参事官、滝澤参事官

(3) 関係省庁

内閣官房 国家安全保障局 安藤内閣審議官

内閣情報調査室 総務部 高杉参事官補佐

内閣衛星情報センター 管理部総務課 宮田企画班長

外務省 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 植田宇宙専門員

防衛省 防衛政策局 戦略企画課 松本課長

4. 議事要旨 (○：質問・意見等 ●：回答)

(1) 安全保障分野におけるロシアの宇宙政策について

資料1に基づく説明の後、次のような議論が行われた。

○ロシアのジャミングやスプーフィングなどの能力はどのようなものか。

●報道情報によると、GPSの民生用コードに対するジャミングやスプーフィング能力を有していると考えられる。

(2) 令和2年度宇宙関係予算案等について

資料2に基づく説明に続く委員からのプレゼンの後、次のような議論が行われた。

○十分な予算が確保できているのか。

●各省庁がやりたいことをできる予算を概ね確保できていると考えているが、一部に十分でない予算があるので、今後の予算要求を頑張っていきたい。

(3) 次期宇宙基本計画骨子案について

資料3に基づく説明の後、次のような議論が行われた。

○宇宙空間が戦闘領域化するなど安全保障環境は悪化しているので、全体のトーンとしてもう少し切迫感を出してはどうか。日本の宇宙政策は相当頑張って成果を上げてきているが、このままで大丈夫という安心はできない状況にある。より一層の政府の頑張りや民間を含めた日本全体の力の結集が必要というような書きぶりがあってもよ

いのではないか。

●基本政策部会における議論でもすべての分野で相当な危機感が基本的なベースとなっている。その認識を書き込むようにしたい。

○「宇宙政策の推進に当たっての基本的なスタンス」が非常によい形でまとまっている。今後4章に記述する具体的な施策や工程表の個々のプログラムとどうつながるか、政策のストーリーづくりが重要。

以上